

平和と国際社会への女性の貢献

国際連合における女性差別撤廃の動きにおいては、「平等」「開発」と並んで「平和」が重要課題の一つとなっています。戦争や侵略によって常に大きな被害をこうむるのは女性だからです。平和な状態が保たれない限り、女性の地位向上の作業に安心して取り組むことはできません。また、もっと根本的には、自分たちの住んでいる社会の中で差別をなくそうとする姿勢と、国際社会において戦争や侵略、抑圧をなくそうとする姿勢は同一の根から発するものであって、一方だけが他方を無視して進展することはありえません。

国際関係は決して国外の人々と手を結ぶというだけのことではありません。わが国にはかつての植民地支配の、また戦後の経済関係の結果として、多数の外国人が居住しています。岸和田市の外国人居住者も二千人を越えます。まず地元において外国人居住者と差別のない、平和な共生関係を作ることが国際社会への貢献の第一歩と言えましょう。相変わらず国内において外国人差別がなくなる現状において、外国人女性居住者は外国人差別と女性差別の二重の重荷を負わされることが常です。

1. 平和のまちづくり

外国人女性にとって住みよいまちに

・市内在住の外国人女性が安心して相談することのできる相談窓口を設置する。	広報公聴課 女性センター 商工観光課 文化国際課
・相談されたことのうち、行政として責任を持って解決できる問題に早急に取り組む。	
・外国人女性の就業の実態を調査し、可能な限り必要な対策を講じる。	

平和意識の高揚と女性

・国連の女性差別撤廃の動きの中で「平和」が重要視されている意味を広く市民に伝える努力をする。	自治振興課 女性センター
・平和資料展実行委員の半数を女性にするよう主催者に働きかける。	
・戦争体験記録集の作成に際し、女性の経験を多く取り上げ、女性の視点を導入するよう働きかける。	

2.国際理解と女性

外国人に対する不当な差別をなくすためには、異なる文化を理解し、異なる習慣や価値観を尊重する姿勢をつちかうことが重要です。日本人の多くは一方ではいまだにかつての植民地支配の当時につちかわれた外国人に対する偏見からぬけきれず、他方では外国人と素直に対等な関係を結ぶ個人的な経験が非常に少ないこともあって、自分では意識しないままに外国人に対する差別意識を保っています。まず素直に外国人のことを知る努力が必要です。

女性に関わる国際理解の推進

・海外の多くの地域の女性の生活と文化、その社会的貢献を知るための機会を可能な限り提供する。	文化国際課 女性政策スタッフ 女性センター
・海外の諸地域における男女平等に向けての取り組みに関する情報を収集し、市民に提供する(章1 参照)。	
・世界女性会議等に市民を派遣する。	
・外国人女性との交流の機会を提供する。	